

ISEP インターンを終えて

ISEPのインターンで印象に残っていること

そもそも私がISEPのインターンに来たのは、所属していた消費論ゼミでの卒論のテーマを「地域×エネルギー」にしようとしたのがきっかけでした。それが結果的に、今現在卒論を提出せず、就活を辞め休学し、自然エネルギーと社会についてもっと知りたいと思い来月デンマークへ渡ることになっています。このすべてのきっかけとなったのが、2015年5月29日に開催されたISEP15周年記念のインターンOBOGが集まるシンポジウムに参加したことです。インターンを卒業後、自然エネルギーの業界で活躍する人、様々な経験を経てまた自然エネルギー業界に戻った人、これからそうしようと思っている人、社会人に成り立てで迷っている就活中の私に共感し相談に乗ってくれる人…たくさんの人と話し、私もいつか自然エネルギーに関わる仕事がしたいと強く思ったと同時に新卒就職への執着もなくなり、「人生どうにかなる！！」と根拠のない自信を抱きました。(笑) そして再エネ先進国をこの目で見たいという思いと、語学への苦手意識の克服を同時に果たすべく、デンマークへ行く準備を始めた、という感じです。

インターン中は、年上のスタッフさんやイベント等で関わる大人の方たちから学ぶことが多いのはもちろんですが、同時期にインターンをしていた仲間からも刺激を受けました。大学院を見据えて研究熱心な人や、情報収集・発信の上手い人、ネットワークの広げ方が上手い人など、それぞれに見習うことがあって、積極性に欠けていた私はまだだなど思うことが多かった気がします。こういう繋がりや、受けた刺激を自分の行動に変えていくことが大切だなど学びました。



立教大学 社会学部 現代文化学科
4年 須田 瑞穂

日々の業務内容

ISEPのインターンの業務は、表立った仕事と地味な作業が2:8程の比率であったような気がします。表立つような仕事としてはイベント当日の運営などがありました。その他8割は、そのイベントの準備でチラシの折り込みや名簿の作成、またGSRの英語翻訳や、検索作業などがありました。山下さんも常におっしゃっていましたが、一つの大きなイベントを行うために、沢山の準備やそのために働いてくれる人がいることを忘れてはいけないと

実感しました。一般の企業ができないことをISEPのようなNPOがやっていて、NPOゆえに手間がかかることも、丁寧にできることもあると学びました。

全体的に、業務を通してエネルギーに関することを学ぶことも多いですが、一方で働くことについて、仕事について勉強する事も多かったと感じています。就職活動が始まる前に、「私は就活のためのインターンはしたくない」と一般企業のインターンとは区別してISEPに来ましたが、NPOのインターンだからといって他の企業のインターンに行くことと比べ、得られることに違いがあったわけではなかったと思いました。（社会人としての仕事に対する考え方、その会社の専門分野の学び、といった点が共通しているという認識）

インターンしようか迷っている人へ

ISEPは、本当に自分次第でいろんなネットワークができる貴重な環境です。私がISEPに入った時に持っていた自然エネルギーに対する視点が、卒業するときには何倍にも広がり、人との繋がりもたくさんできました。様々なバックグラウンド、異なる目的を持った同じインターン生からの刺激も多く、必ず自分がこれからどうするべきかを考え、次の一歩につなげることができると思います。新しい環境に身を置いてみるのは、少し勇気がいるかもしれませんが、迷っているのならまず飛び込んでみることをお勧めします。

お給料は発生しませんが(業務によっては発生するものもあります)、お金以上に自分の人生に役立つ考え方や人脈が得られたと私は思っています。エネルギー業界で仕事をしなくても、インターンに参加する価値は十分にあるので、ぜひ事務所にきてみてください。